

令和4年度

事務事業評価表 ( 令和3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和4年4月19日

事務事業名		後期高齢者医療制度健康診査受託事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010701000383
						単独/補助	補助		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	030201
総合計画の施策名		0107 社会保障制度の健全運営							国保年金課
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
施策名		07 社会保障制度の健全運営						グループ	医療年金G
手段名		01 ①医療保険制度の充実						担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	01	04	02	00	老人医療給付事業		
法令根拠		高齢者の医療の確保に関する法律、茨城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>高齢者の医療の確保に関する法律により高齢者の健康診査は、平成20年度より茨城県後期高齢者医療広域連合が実施主体となった。</p> <p>この健康診査事業は被保険者の利便性等を考慮し、広域連合との業務委託契約により今までの基本健康診査と同様に市が実施している。</p> <p>平成29年度から集団健診に加え、個別健診と人間ドック助成1人20,000円を開始。令和元年度から脳併用ドック助成1人40,000円(2年に1回)実施。令和2年度から人間ドックに自治医科大学附属病院が追加、令和3年度から石岡市医師会病院が対象外となる。</p> <p>集団健診については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年7月からは完全予約制により実施している。令和4年度から個別健診が13医療機関から16医療機関に増加。</p>	<p>受診券は、健康管理システムより過去3年間に集団健診受診歴のある被保険者を抽出し、4月下旬に郵送する。(委託先:受診券作成→茨城計算センター、封入封緘作業→セイブドナー、集団健診→茨城県総合健診協会)前年度の個別健診と人間ドック受診者には、別便で受診券を郵送。集団健診及び人間ドック・個別健診の医療機関との契約は4月中に行う。健診終了後、健診協会・各医療機関の請求に基づいて支払いをし、集団健診分は、受診結果を郵送する。個別健診と人間ドックは、健診結果を国保連のシステムに入力する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
過去3年の間に受診歴のある被保険者に対し、受診券・尿検査容器等を郵送。集団健診は茨城県総合健診協会へ委託し市内3会場で完全予約制で実施。個別健診は市内の13医療機関。人間ドックは県内9医療機関と契約。	住民健診受診者数 (集団健診)	人	317.00	514.00	800.00	820.00	835.00
	個別健診受診者数		104.00	79.00	110.00	120.00	125.00
	人間ドック受診者数		48.00	65.00	90.00	90.00	90.00
	脳併用ドック受診者数		17.00	18.00	30.00	30.00	30.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
茨城県後期高齢者医療広域連合の被保険者	被保険者数	人	6,616.00	6,725.00	6,900.00	7,100.00	7,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
被保険者の健康の保持増進、疾病の早期発見、早期治療及び生活習慣病予防の意識を高める。	健康診査受診率	%	7.34	10.05	14.92	14.92	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
事業費	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	3,215	5,942	7,390			
	一般財源	1,377	2,067	3,073			
	事業費計 (A)	4,592	8,009	10,463			
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人			

03年度事業費 実績 (千円)

04年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)	04年度事業費 予算 (千円)
10 需用費	47	73
12 委託料	5,942	7,390
18 負担金補助及び交付金	2,020	3,000
合計	8,009	10,463

事務事業名	後期高齢者医療制度健康診査受託事業	事務事業No.	10701000383	所属課	国保年金課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合が設立され、平成20年4月1日から保健事業として開始されたものであり、制度開始期より大きな変化はない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の健康保持を目的としているので政策体系に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法律・条例に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているものであるから、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ほとんどの被保険者が医療機関を受診しているため、受診率を大きく向上させることは困難である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法律・条例に基づき、茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているものであるから、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 茨城県後期高齢者医療広域連合からの委託で実施しているため、統廃合は難しい。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 集団健診は国民健康保険被保険者等の特定健診日に、同じ健診機関に委託することで最小限の単価で実施しており、削減の余地はない。個別健診についても茨城県医師会の標準単価で実施しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 被保険者全員を対象としており、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	集団健診は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、令和2年度に引き続き令和3年度も完全予約制で実施。健康カレンダー等の案内により、コールセンターやインターネットの予約方法も市民に浸透してきている。個別健診や人間ドック助成についても年々受診者が増加している為、個別健診の契約医療機関を市内に限らず要望の多い病院を追加した。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <span style="float: right;">①</span>																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>